

白山環境セミナー俳句大会 平成三十年五月十四日

能村 研三選

特選 蛇崩れの山見てをれば朴の花

松浦千賀子

山法師加賀強情の雨となり

清水 和代

出作りの分校の椅子青時雨

杉本 年紅

入選 雪溪の己れ汚して靄立たす

国枝 隆生

白山の雨に地獄の釜の蓋

国枝 隆生

地底より夏霧生るる一揆の地

伊藤 一男

真白なる神の吐息の夏の霧

川原友記子

塗椀の治部煮いたたく夜の新樹

宮野かほる

分校にオルガンひとつ緑雨かな

佐藤 綾泉

撫芽吹く加勢の雨のつりけり

太田 土男

白山の嵐気に育つ二輪草

加舎 逸子

輪草の森や水の香水の音

藤島 咲子

かんなびの山に叶ひて朴の花

太田 土男